

2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(42)番 福山市立山野小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	問題解決力	コミュニケーション力	協調性・柔軟性	チャレンジ性
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童の姿)	○豊かな学力(問題解決力=基礎学力に支えられた思考力,判断力,表現力)を身に付けた児童	○豊かな心(協調性や柔軟性のある幅広いコミュニケーション力)を身に付けた児童		○自らたくましく生きる(夢や目的の実現に向けて,主体的にチャレンジする)児童

2 授業の現状

・「少人数の学びの創造」をテーマに年間を通じて小中合同授業に取組み,同じ視点で授業改善を進めている。しかし少人数ゆえ,児童と教員の一問一答になりがちで,思考の深まりや表現活動では,不十分な点がある。

転換

3 めざす授業の姿

・個々の児童に応じた資料,ヒントカードの提示や発問の工夫や構造的な板書の工夫により,児童の思考が深まり,自ら課題を解決しようとする授業
 ・児童が意欲的に活動する場面を構築し,「分かった・できるようになった・楽しかった」等の自己肯定感を味わえる授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<input type="checkbox"/> 確かな学力を身につけるために,個に応じた適切な指導を行う。 <input type="checkbox"/> 思考が深まる「発問」や「板書」の工夫を行う。 <input type="checkbox"/> 問題解決に意欲的に活動する場面を取り入れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童の様子から,どこで困っているかを把握し指導していった。 ・発問は,精選した具体的な言葉できるように努めたが,児童の思考を伸ばせないこともあった。板書では,学習の流れがわかるように工夫をした。 ・思考の時間の確保に努め,発表の仕方を示していった。 	<input type="checkbox"/> 個の困り感に気づき,個に応じた課題等を用意し指導していく。 <input type="checkbox"/> 児童により理解できるように,発問をもっと精選していく。 児童の思考の助けになるよう導入や視覚支援を工夫していく。 <input type="checkbox"/> 問題解決の時間を確保し,児童それぞれが考えられるように,支援していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・個の課題を克服するためのワークシートやヒントカード等を用意してきた。しかし,解決までには至っていない。 ・発問の精選に努めてきた。児童の反応は,少しずつ向上している。視覚支援は続けていく。 ・算数科や国語科では,考える時間を確保し,自分の考えを発表できる場が増えてきた。 	<input type="checkbox"/> 個の困り感を把握し,個に応じた指導を継続していく。 <input type="checkbox"/> 発問の精選を継続していく。児童の思考の助けになるよう導入や視覚支援を工夫し,「めあて」と「まとめ」の整合性を図る。 <input type="checkbox"/> 問題解決の時間を確保し,児童の考えを発表できるように,支援していく。	

5 取組の結果等

数値は2017年(H29年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A問題	B問題
国語	少人数のため	
算数	非公開	

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプⅠ	タイプⅡ
国語	()	()
算数	()	()
理科	()	()

「基礎・基本」定着状況調査(児童質問紙調査)(%)

内容	国語		算数		理科	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる						
学校が楽しい						

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (12)月末現在

暴力行為	0	不登校	29
------	---	-----	----

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 10/16	○「ソフトボール投げ」を県平均,全国平均と比べて,記録が低い。	○「握力」は,県平均に比べ2ポイント程度低い学年がある。 ○「立ち幅跳び」は,県平均と10ポイント低い学年がある。 ○「ソフトボール投げ」は,ほとんど全学年で県平均よりも低い。	○「握力」は,雲梯や登り棒や「にぎにぎ百回」に挑戦させる。 ○「立ち幅跳び」は,ジャンプやバンブーダンスを取り入れて取り組む。 ○「ソフトボール投げ」は,的当てゲームや紙飛行機を投げる等,腕の振り方やフォームをつくる指導をする。
(女子) 15/24			

目標値

○新体力テストの総合評価のAB率を90%以上にする。
 ○「握力」の数値を県平均地に近づける。○「立ち幅跳び」の数値を県平均に近づける。
 ○「ソフトボール投げ」の数値を県平均に近づける。

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	よく	当てはまる
仕事にやりがいを感じている	0	100
仕事に充実感がある	0	100

児童生徒アンケート(%)

(1)月実施

質問項目	当てはまる	少し
授業で考えることが面白い	80	0
自分の考えは,認められている	80	0